

第3回札幌市地域防災計画（原子力災害対策編） 策定に係る有識者会議 結果概要

1 日時

平成24年11月27日（火） 16:30～18:00

2 場所

TKP札幌カンファレンスセンター カンファレンスルーム6B

札幌市中央区北3条西3丁目1-6 札幌小暮ビル6階

3 出席委員

太田座長、赤城委員、岡田委員、岸委員、志賀委員、近久委員、藤吉委員

※9名中7名出席

4 会議内容

(1) 計画原案について

(2) 計画原案概要版について

5 委員からの主な意見

(1) 計画原案について

- ・ 前回の会議を踏まえた修正により、わかりやすくなった。
- ・ 被害想定根拠が少し弱い気がするので、計画において、札幌市が独自に拡散シミュレーションを実施する余地を残しておいても良いのではないかと。
- ・ 上位計画（北海道地域防災計画（原子力防災計画編））との整合性にこだわらず、大都市としてリーダーシップを発揮してほしい。
- ・ 被害想定は、先日の原子力規制委員会が出したシミュレーションから推測すると、特段の問題はないと考える。
- ・ 複合災害について、もう少し言及した方が良いと思う。
- ・ 原子力防災計画の作成に関して、国、北海道、札幌市の関係がわかるような図を示すと、よりわかりやすくなると思う。
- ・ 原子力災害が発生した場合、防護措置の必要性などを判断するにあたっては、モニタリング結果が非常に重要であり、札幌市が実施したモニタリング結果を、国に報告するようなルートを確立する必要があると思う。

- ・ 今後、計画に基づいた実施要領等を作成することになるが、市民にとっては、こういった計画よりも、詳細な内容となる実施要領等に興味があると思うので、市民にわかりやすい形で作成を進めると良い。
- ・ 計画を作成すると、その弊害として運用の硬直化が生じる可能性があるので、運用の柔軟性に関する記載もした方が良い。

(2) 計画原案概要版について

- ・ わかりにくいので、一文を短くしたり、見出しを工夫するなど、もっと読みやすい表現に修正した方が良い。